

|   |  |
|---|--|
| <b>議題</b>   | <b>第1回運営推進会議</b>   |
| <b>日時</b>   | 平成30年9月7日(金) 14:00~15:00   |
| <b>場所</b>   | デイサービス山風木  |
| <b>出席者</b>  | (順不同敬称略)<br>加屋町民生委員 K様<br>三島市 介護保険課 F様<br>三島地区地域包括支援センター Y様<br>デイサービス山風木利用者様ご家族 K様、O様、S様、T様<br>デイサービス山風木センター長 渡部浩考<br>デイサービス山風木総括 渡部美保子<br>(議事録作成者) 渡部浩考 (議事進行者) 渡部美保子 |
| <b>会議の詳細</b>  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● ごあいさつ (センター長 渡部浩考)<br/>           ~出席者のご紹介、本会議の趣旨(目的)について~</li> <li>● デイサービス山風木のご紹介 (センター長 渡部浩考)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・開所から半年が経過した旨</li> <li>・認知症の方だけが利用できる事業所である旨</li> <li>・関係事業所(ふじしろ、若芝)の紹介</li> <li>・事業所の理念や活動の考え方</li> <li>・ご利用状況の報告</li> <li>・人材育成に関する考え方。取組について。</li> </ul> </li> <li>● デイサービス山風木の活動 (総括マネージャー 渡部美保子)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の環境を活用した活動報告(写真投影)</li> <li>・近隣への散策など地域との関わりを目指した活動</li> <li>・各種行事や季節活動<br/>               →活動の写真をプロジェクターにて投影</li> </ul> </li> <li>● わたしたちの活動について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症への対応は社会・地域の問題<br/>               →認知症への理解を含めて認知症の方が日常に普通に生活できる環境づくり<br/>               →ふじしろデイは試行的に町内会と地域カフェを開催している<br/>               →若芝は、商店街の散策とあわせて地域変化への気付きを拾うようにしている<br/>               →居宅ふじしろは、藤代町に住まう人の変化に気づけるように情報収集している</li> </ul> </li> </ul> |  |

● ご意見

民生委員 K 様

民生委員になってまだ1年ぐらいなので詳細な情報は把握しきれていないが、高齢者が増えているということは間違いないだろう。

加屋町は280世帯ぐらいの比較的小さな町だが、高齢者の息子・娘世代が家を出て別の場所に住んでしまっていることが多く、高齢者だけの世帯になってしまっている所帯がみられる。

加屋町の雰囲気としては、昔は商店も多く、職人氣質な人が多いはず。(昔は活気もあった)その気質が高齢者となって、どのような課題や影響になっているかはまだ掴み切れていない。

ご家族様 O 様

家族としては、何も覚えていない。徘徊で警察にお世話になる。など様々な大変な思いをしている。介護サービスを使って少しでもその負担が軽くなればと思うが、入浴やシャワーなど本当に出来ないことも多くなってきている中で、家族も様々な工夫や努力をしている。

ご家族様 S 様

認知症は治らないと思って諦めなければならないのでしょうか。どこかで「少しは改善するのではないか？」という思いが頭から離れない自分がある。でも、他の方の話を聴いていると同じようにご苦労されていることがわかり、わたしもそれを受け容れていかなければならないのかもしれない。とも思う。三島市では、こういった認知症家族の会のようなものはないのでしょうか？

三島包括 Y 様

商店街にある「街中ほっとサロン」で2か月に1度ぐらいで認知症家族の会を開催している。また、専門家が話を聴く場も毎月3回程度もうけている。(オレンジほっとサロン)

統括 渡部

資料のコピーなどをお渡しできるように手配します。

ご家族様 T 様

私の母は独居です。いずれは同居するかもしれませんが、できる間は頑張ってもらおうと見守るかたちで独居を続けてもらっています。(同居すると頼ってしまって自分で出来ることをやらなくなってしまうと考えています。)分からないことがあると電話が掛かってきたり、ご近所さんに聞きに行ったりして、ある場面では迷惑をかけたりしていることもあるかもしれないが、自分で買い物に出かけたりしているうちは頑張りたいと思っている。

統括 渡部

助けを求めることが出来る関係・環境・状況を作られてきたことは素晴らしいと思います。小さな支援があれば何とかなくなってしまいうことも多いのですよね。

民生委員 K様

本当にいろいろな家族や状況があるのだと感じた。自分の母も山風木にお世話になっているが、また状況は異なると思う。人によってだいぶ違うという事実を知った。

三島包括 Y様

地域に認知症を知ってもらい。理解をしてもらう。そういう活動をしながら少しずつ認知症ケアが前に進んでいくとよいですね。

三島市 介護保険課 F様

開所して半年ではありますが、山風木さんの良い評判も耳に入っています。小規模事業所や認知症対応型事業所の数は多くないのですが、大きな事業所に役割があるように、小さな事業所や専門的な事業所にも役割があると思うので、頑張りたいと思います。

センター長 渡部

まだ半年ではありますが、コツコツとやっていきたいと思っています。また半年後にはこういった場がありますので、そのときにもご意見をいただければと思います。本日はお忙しいところありがとうございました。

なお、次回の開催予定は31年3月頃を予定しております。